

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	情報処理	花田 経子	1 年次	春・秋

授業のキーワード	情報処理、コンピュータ、IT、リテラシー、情報システム
授業の概要	短期大学で学びなければならぬ「情報処理論」について、体系的に学ぶ講義である。情報という言葉の本質的な理解、情報処理の仕組み、情報技術(IT)の構造と役割、ITに基づいた情報システムの社会における役割と活用方法を理解することが目的である。
期待される学習成果 (目標)	【履修上の注意】 講義形式ですが、レポートや課題においてPCの操作を義務付けます。 【履修における条件】 本講義では、『PCパス①』と『PCパス②』の取得を義務付けます。単位認定時に、パスがない学生は単位を認められませんので注意してください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	PC 実習(1)	講義概要・運営方法、短大 PC の利用ルール、新短ネットの利用方法、SNS の仕組み	第9講	小テスト(2) & コンピュータの仕組み(1)	ハードウェアの構造(入力・出力装置)
第2講	ミニレポート(1)&PC 実習(2)	電子メールの構造理解、メール初期設定、ネチケット	第10講	コンピュータの仕組み(2)	ハードウェアの構造(CPU、記憶装置)
第3講	ミニレポート(2)&情報とは何か(1)	情報とは何か、Wikipedia の仕組みから考える情報と IT の関係	第11講	コンピュータの仕組み(3)	プログラムとソフトウェア
第4講	情報とは何か(2)	情報と情報処理、インフラとしての IT と現代社会の仕組み	第12講	小テスト(3) & コンピュータの仕組み(4)	パケット通信とルーティング
第5講	ミニレポート(3)&IT と情報システム	コンビニエンスストアの業務と IT、情報システムとは何か	第13講	IT 社会の今後(1)	サイバー犯罪の現状と情報セキュリティ
第6講	小テスト(1) & 情報技術の基礎理論(1)	デジタルとアナログ、ビットによるデータ表現、情報の単位	第14講	IT 社会の今後(2)	今後の IT 社会において必要となる知識と考え方
第7講	情報技術の基礎理論(2)	n 進数、基数変換、文字データの符号化	第15講	試験 + レポート	第13講で課題を呈示し、レポートを定期試験時に提出。定期試験も実施する。
第8講	情報技術の基礎理論(3)	画像／音声データの符号化、情報伝達の仕組み(メディアとプロトコル)	定期試験		
評価方法	(1)出席点：30%、(2)小テスト3回&ミニレポート3回：30%、(3)定期試験：20%、(4)最終レポート：20%				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
『コンピュータ概論——情報システム入門』, 石原秀男・魚田勝臣他共著, 共立出版 『新島学園短期大学パソコン活用テキスト』(入学時に配布、PC パスの教科書も兼ねている)			『情報とはなぜビットなのか』, 矢沢久雄著, 日経BP社 『コンピュータとはなぜ動くのか』, 矢沢久雄著/日経ソフトウェア監修, 日経BP社 『あなたはコンピュータを理解していますか?』, 梅津信幸, ソフトバンククリエイティブ		